

クラブ訪問

215

「練習を重ねて次こそは」

成田ジュニアスターズ

私たち成田ジュニアスターズは、小学生23人で活動しているミニバスケットボールチームです。木・土・日曜日に成田小学校や美郷台小学校の体育館で活動しています。

練習ではウォーミングアップを行った後に、ドリブルや2人1組で並走しながらパスを出し合うツォーメンなどの基礎練習、試合形式の練習を行っています。

チームの課題はディフェンスと基礎体力の強化。2月に行われた新人戦では1点差で負けてしまい、惜しくも決勝トーナメントに進めませんでした。その時に「もっと体力があれば」「もっと相手の攻撃を止められたら」と悔しい思いをしました。

シュートの練習も大事ですが、相手の攻撃を止めたり、最後まで走り続けたりすることができれば、試合に勝つことはできません。そのため、今はコートを20秒間で2往復する20秒ダッシュやフットワーク練習といった、ディフェンスと基礎体力の強化につながる練習を重点的に行っています。

現在は、五月にある春季大会に向けて練習に励んでいます。新人戦では良い成績を残せなかったので、一つ一つの試合に全力で取り組み、決勝トーナメントに進出できるように頑張りたいです。



山野井 ほか キャプテン(6年生)

チームメートが声を出しやすいように、人一倍声を出すように心掛けています。



ステップを教えて一緒に上達



競り負けないようにキープ

なかまと一緒に

「一から作る喜びを感じて」

212

竹がごクラブ

私たち「竹がごクラブ」は、毎月第3金曜日に大栄公民館で竹ひごを材料にした物作りを楽しんでいるサークルです。

竹ひごは、竹を細く割って棒状に加工した物。この竹ひごを編んで、籠やざる、コースター、一輪挿しなどさまざまな物を作っています。多様な編み方を組み合わせて作るのには簡単ではありませんが、先生が用意してくれたマニュアル



自慢の作品を手に

を参考に、分からないところは教わりながら取り組んでいます。

一つの作品を作るのにかかる期間は、基本的には1カ月ほど。物によっては2〜3カ月かかることもあります。完成した作品は自分で使ったり、プレゼントしたりします。作品が上手にできたときの達成感や、プレゼントして喜んでもらえるときのうれしさがやがていにつながっています。

私たちのこだわりは、材料となる竹ひごを一から作っているところです。竹をのこぎりで切るところからはじめ、なたで細く割った後、専用の道具で幅や厚さを調整します。この竹ひごを作る作業がとても大変で、竹籠を編んでいく作業よりも時間がかかります。材料から作るこだわりがあるからこそ、作品が完成したときの達成感も一層大きなものとなるのです。

3月に大栄公民館で行われた大栄地区生きがいセミナーで、初めて作品を展示しました。長い竹ひごを作るのが難しいので、まだあまり大きな作品は作れませんが、今後も技術を磨き、さらに満足できる物が作れるよう精進していきたいです。



いろいろな物を作っています



先生から編み方を教わる

スクスクのびのび

474



ふるかわ ともや
古川 智也くん(2歳)加良部

昆虫と動物が大好きです!



せきぐち よしの
関口 嘉乃ちゃん(3歳・右)飯田町
しんじろう
慎二郎くん(1歳・左)

思いやりのある子に育ってください。



はたの あおば
秦野 碧馬くん(10カ月)はなのき台

4つ上のお姉ちゃんと遊ぶのが大好き!いつも笑顔でご機嫌です!

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

○応募方法 お子さんの写真・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別、親の名前、電話番号、30字程度のコメントを郵送またはEメールで広報課へ
○応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
koho@city.narita.chiba.jp (写真データはJPEGで容量1MB以上で送ってください)
○問い合わせ 広報課 ☎20-1503